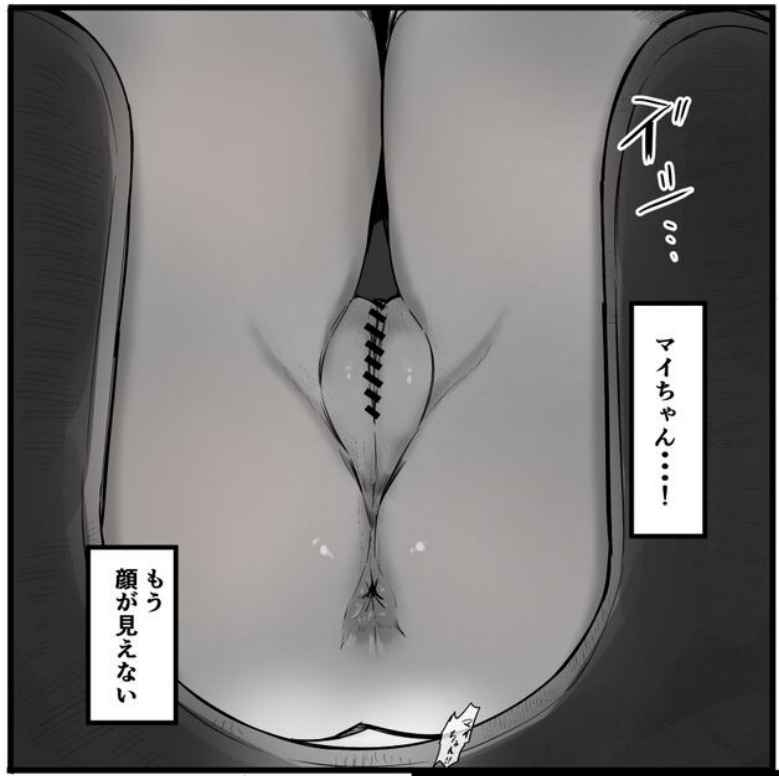


千ヨロ...

ああ!

あっ



千ヨロ...

マイちゃん...!

もう
顔が見えない



ああ
気持ちいい♡

好きな人を
私から出る
キタナイもので
埋め尽くすって

なんで
こんなに
興奮するんだろう

助けっ!

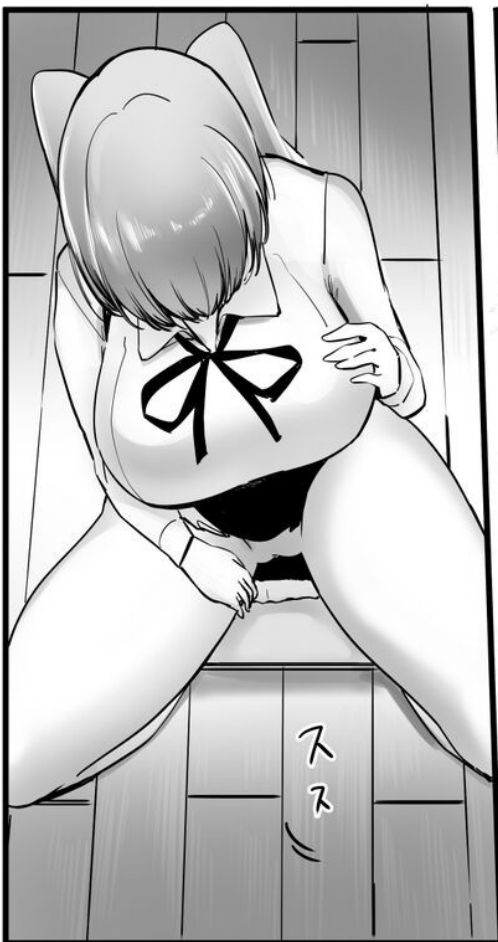
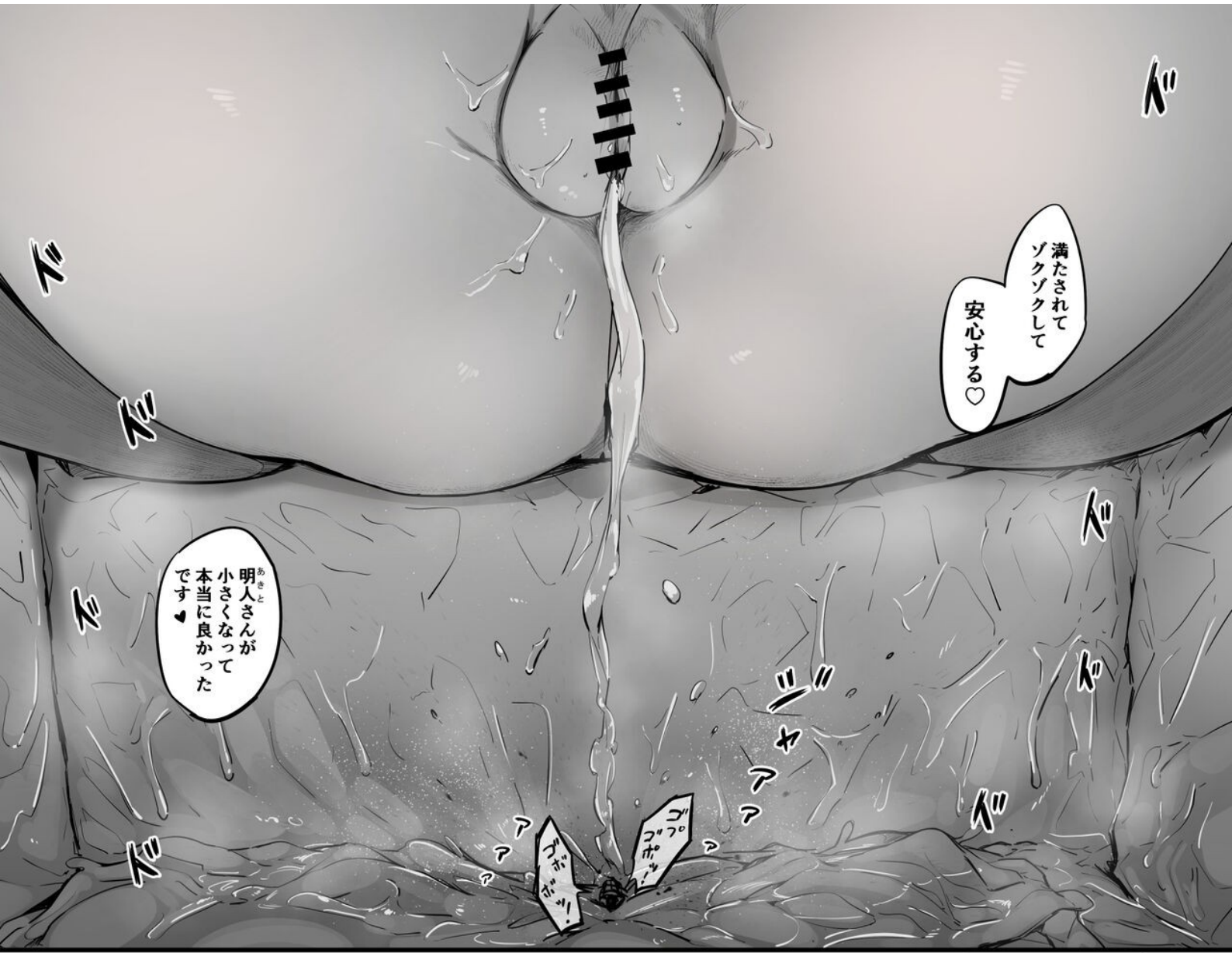
ツボ

ドボ

ドボ

ツボ

ツボ



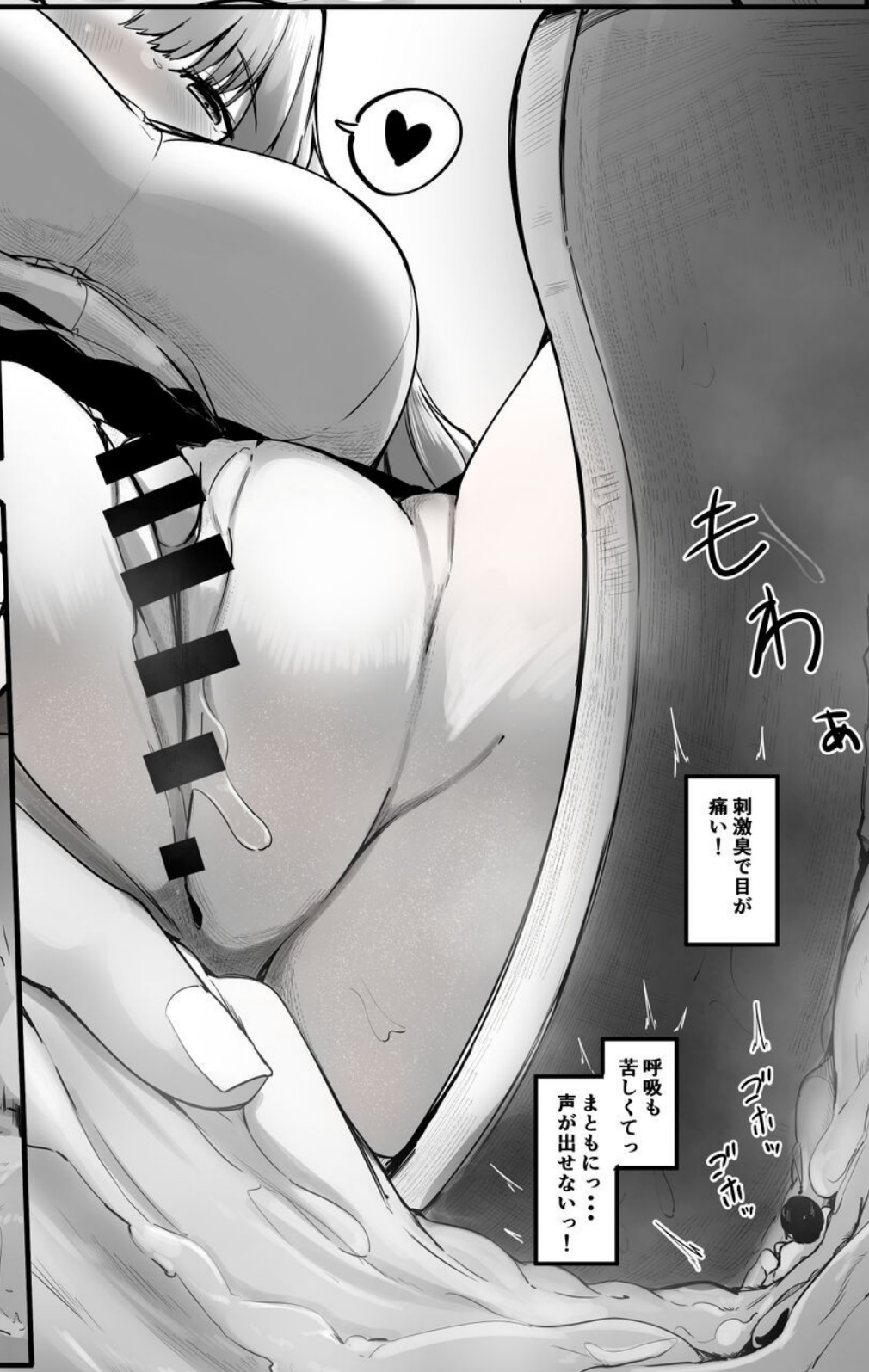


ちやぶ

びち



大好きですよ
明人さん♡



もわあ
あ

刺激臭で目が
痛い!

呼吸も
苦しくてっ
まともにっ……
声が出せないっ!



いっ
アヤ

いっ!!



!?

んっ♡

!!

!!

こっ
今度は何を...?



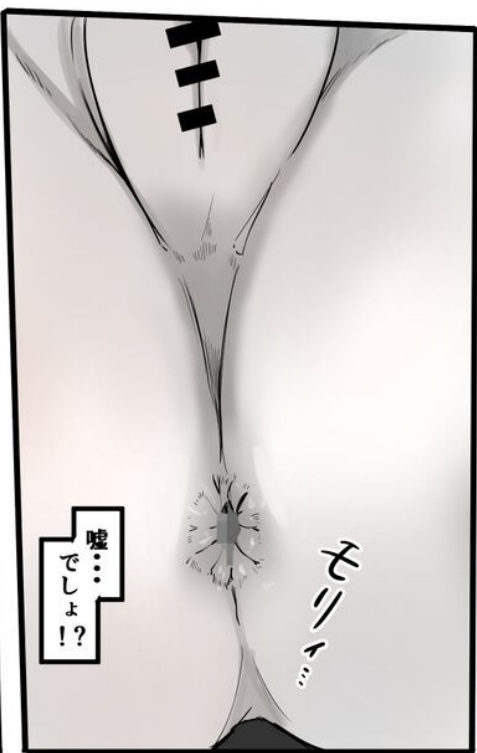
メリッ

そんなに
浴びせられたら...!

メリッ!

イヤ!

嫌だ!



Z

嘘...
でしょ!?

ゼリッ...



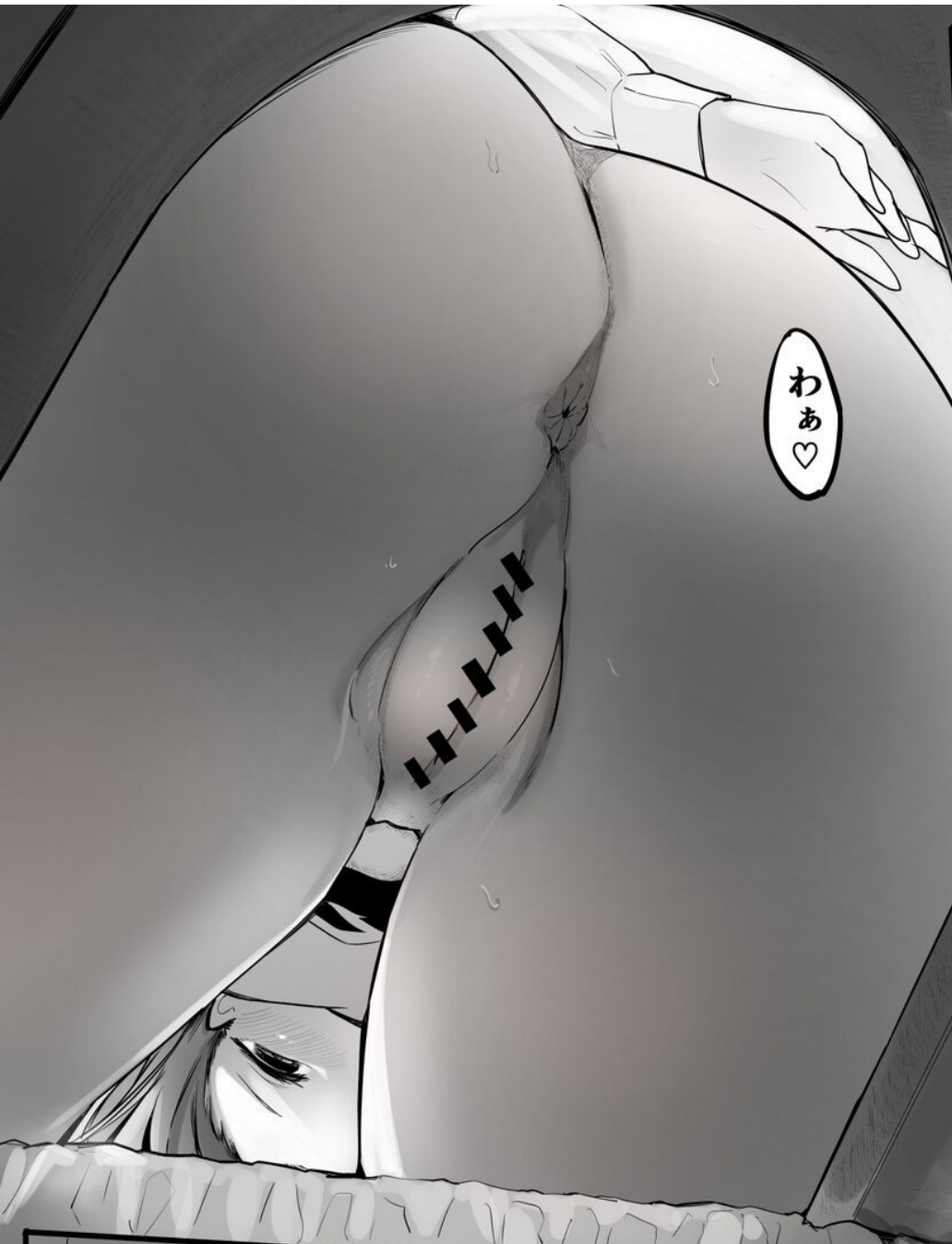
まさか...

モゾ

モゾ

ウ○チ!?

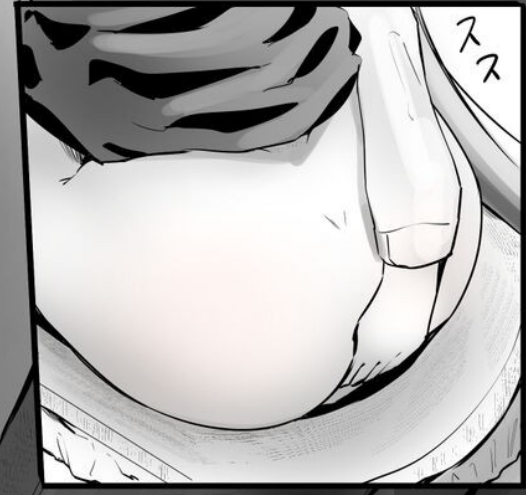




わあ♡



フツ



フツ

モフッ



しばらくこのままで

私の一番濃い匂い

頭から離れなくなるくらい たっぷり染み混ませてあげます♡



あきと 明人さん以外の人には絶対嗅がせちゃいけない匂いしてますね♡

あゝあゝ

フツ

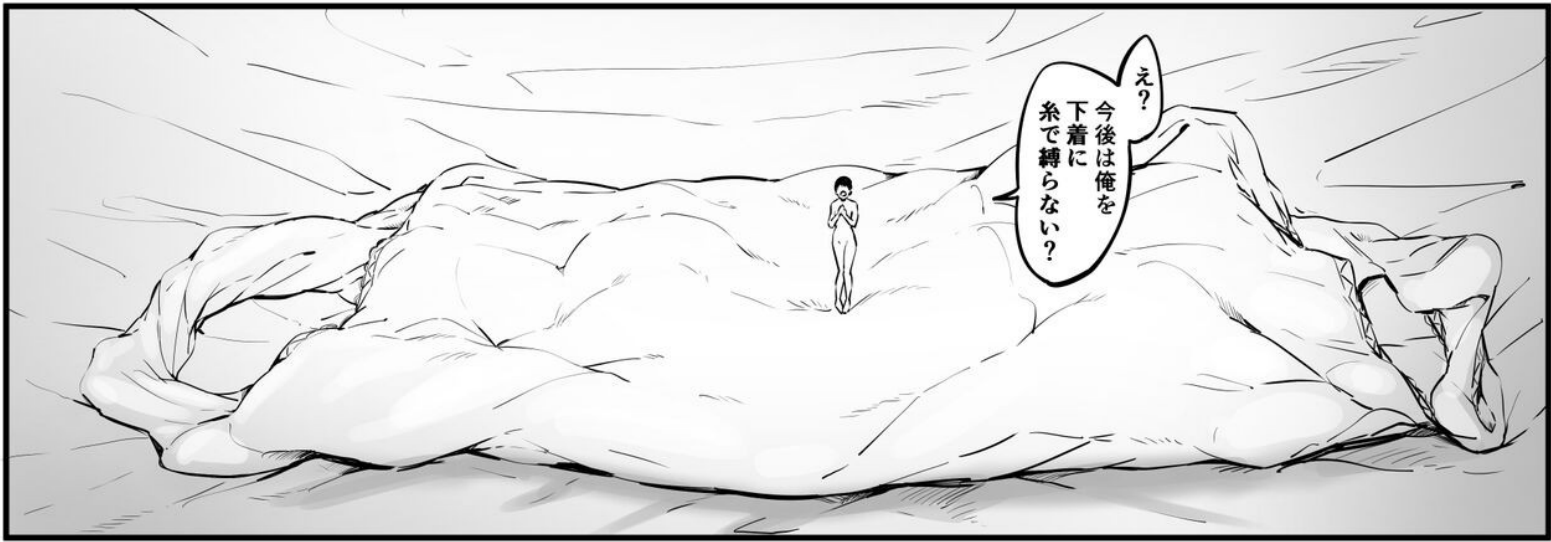
フツ

あゝ

フツ
フツ
フツ

あつ口タイム♡

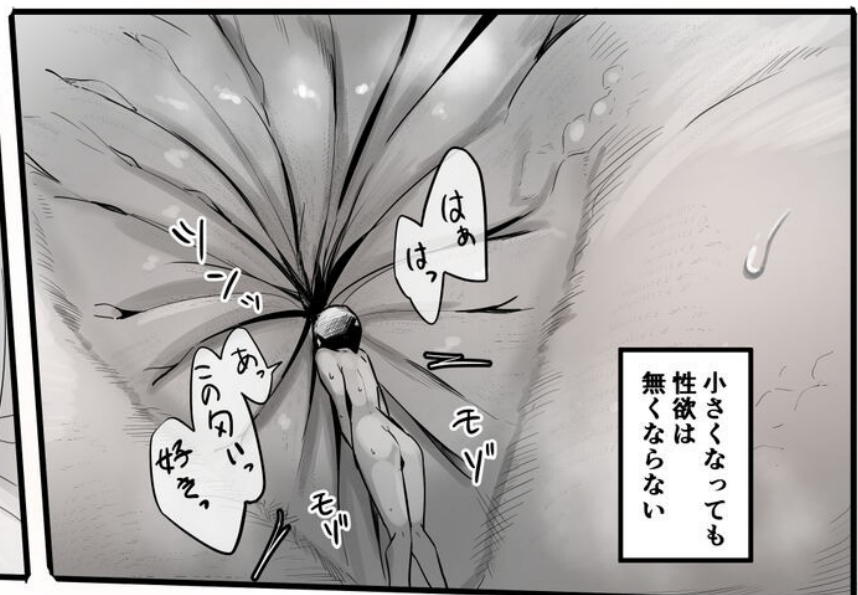






最初は
あんなに怖かった
マイちゃんのお尻

今では
自分から求めている
なんて...



小さくなくても
性欲は
無くない



それより
明人さんが
自分からエッチな
事したいって
言ってくれて
嬉しいです

気にしないで
ください

ごめん
マイちゃんに
こんなお願いして



本来であれば
小さくならなかった
俺にこんな自由は
ありえない

マイちゃんが
居てくれるから



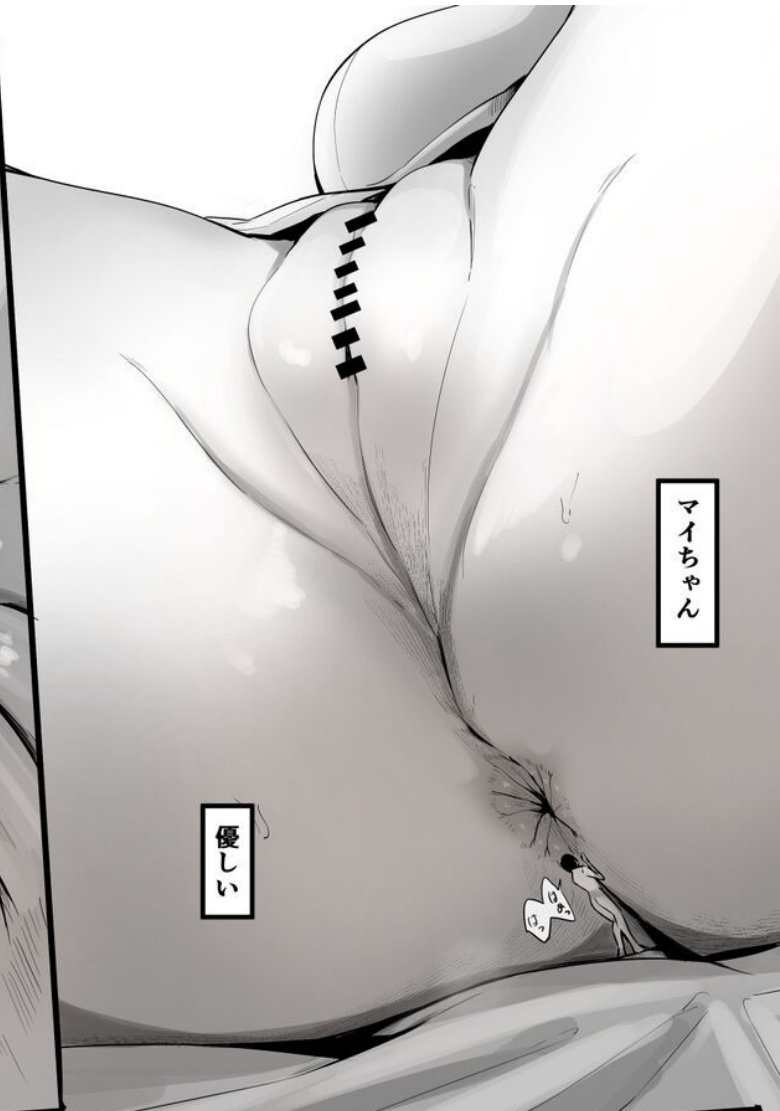
んっ♡



グ
グ
グ...

熱い
マイちゃんの
力強さを
感じる

ムニッ



マイちゃん

優しい



ヌチャ

凄く
興奮する

ムニッ

グググ

続...



あの...
明人さん?
それ
以上はっ

今は
それが
自分のもの
になったみたいで...

ズ
ゴ

ゴ



グッ

マイちゃんの
このお尻の穴に
今まで
怯えてきたけど

グ
イッ